

科 目	数学 I	学年・類型	1 年 普通科・国際文理科	単位数	3
教 科 書		数学 I （数研出版）			
副 教 材 等		サクシード 数学 I +A （数研出版）			
学 習 目 標	数学における基本的な概念や原理・法則の理解を深め、物事を数学的な考え方で見つめ、処理する能力を身に付ける。また、数学的活動を通して、創造性を培い、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを積極的に活用できるようにする。				
学 習 心 得	1 中学校の数学と比べて、授業進度も速く、内容も深まっているので日々の予習・復習は欠かせない。 2 数学 I は高校数学の基本となるので、絶対に理解してほしい科目の一つである。				
	単 元	主 な 学 習 活 動			
一 学 期	数と式 2 次関数	・ 数を実数まで拡張することの意義を認識し、数の概念についての理解を深め、整式の基本的な性質を理解するとともに、展開や因数分解の公式を活用できるようにする。また、1 次不等式についての理解を深め、それらを活用できるようにする。 [主な指導事項] ・ 多項式、多項式の加法・減法と乗法 ・ 実数、平方根 ・ 集合と命題 ・ 因数分解 ・ 1 次不等式 ・ 2 次関数について理解し、関数を用いて、数量の変化を表現することの有用性を認識するとともに、それを具体的な事象の考察や 2 次方程式および 2 次不等式を解くことなどに活用できるようにする。 [主な指導事項] ・ 2 次関数のグラフ ・ 2 次関数の最大と最小 ・ 2 次関数のグラフと x 軸の位置関係 ・ 関数とグラフ ・ 2 次関数の決定			
二 学 期	2 次不等式 図形と計量	・ 2 次方程式と 2 次不等式 ・ 三角比の性質、三角比の拡張について理解を深め、正弦定理や余弦定理を利用して図形の計量の処理に活用できるようにする。また、相似な図形の相似比と平面図形の面積および立体の体積と表面積について理解を深めさせる。 [主な指導事項] ・ 正接・正弦・余弦 ・ 三角比の相互関係 ・ 三角比の拡張 ・ 正弦定理・余弦定理 ・ 正弦定理と余弦定理の応用 ・ 三角形の面積 ・ 空間図形への応用			
三 学 期	データの分析	・ 統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。 [主な指導事項] ・ データの整理とデータの代表値 ・ 分散と標準偏差 ・ 仮説検定の考え方 ・ 散らばりと四分位範囲 ・ 2 つの変量の間の関係			

評 価 の 観 点 及 び 内 容		評 価 方 法
知識・技能	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	・ 定期考査 ・ 授業中の活動への取組 ・ 確認テスト
思考・判断・表現	数学を活用して事象を論理的に考察し、事象の本質や他の事象との関係を認識し、発展的に考察している。数学的な表現を用いて事象を的確に表現している。	・ 定期考査 ・ 課題等における発展問題への解答
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	・ 授業に取り組む態度 ・ ノート等における記述 ・ 授業中の発言 ・ ルーブリック評価